

## 研究の概要

# 主体的に学び、自分の思いをすすんで表現できる子供の育成

## ～国語の授業における対話の工夫～

### 1 研究主題について

本校では、次のように研究を積み重ねてきた。

平成29年度～ 人間関係を深め主体的に行動できる児童の育成（特別活動）

令和元年度～ 自分の思いをすすんで表現できる児童の育成（外国語活動・外国語）

前年度までの研究の流れを引き継ぎ、「主体的」で「自分の思いを表現できる」児童を育成するために、国語の授業における対話の工夫を通して児童の育成に取り組んできた。本研究における「主体的に学び、自分の思いをすすんで表現できる」を本校では、次のようにとらえる。

- ・他者との関わりの中で、自分の考えをもつことができる児童。
- ・自分が伝えたいことを、適切な表現方法で伝えることができる児童。
- ・相手を意識し、話したり聞いたりすることができる児童。

### 2 研究仮説について

研究1年目の今年度は、下の図のように研究の素地を作り、全校で確実に「話すこと・聞くこと」の指導を行っていくこととした。



研究主題に迫るために、次のように仮説を設定した。

系統性のある指導を行い、環境を整備することで基本的な力を育成し、主体的に学び、自分の思いをすすんで表現できる児童を育成することができるであろう。